

慶南大学

実習生：島田良幸、宇多愛美、野村沙矢、箭野満生

実習場所：慶南大学師範大学、日本語教育科

実習期間：2010年3月14日～4月3日(3週間)

費用：航空運賃＝約6万円、ホテル代＝約14万円(国際交流基金から支給される)

実習内容：授業見学—50分×37

実習：50分×3

交流会(イベント)：3回

○実習

第一週目は、授業見学のみでした。私達が受けた授業は、日本語作文教育、時事日本語、基礎日本語、日本語教科文法指導、日本語音声教育です。韓国語だけで授業する授業から、ほとんど日本語だけで行う授業もあり、自分達が今まで受けてきた授業とはまた違う新鮮な感覚で授業を受けました。授業に参加して思ったことは、韓国の学生のほとんどが授業参加の意欲があり、熱心であるということです。日本の学生とは少し違うな、と思いました。週末には、学術ゼミという学科みんなで2泊3日の交流会がありました。小論文を発表したり、ゲーム大会をしたり、食事をして、お酒を飲んだりします。この時間があつたからこそ、みんなと早くに打ち解けることができました。



第2週目は、プログラムでは授業見学と実習計画期間だったのですが、できるだけ実習をしたほうが
いいだろうという先生方の配慮から、実習をさせてもらえる授業がありました。上手くできた授業もあれ

ば、もっと勉強して準備が必要だったな、と反省する授業もありました。

第3週目には、2週目よりも実習が増え、前回の反省を生かした授業ができました。最後には、「次いつ授業するのですか？皆さんの授業は面白いので早く受けたいです。」と言ってくれる学生もいました。とても嬉しかったですし、もっといい授業ができないか、とさらに意欲がわきました。実習準備は何時間もかけて大変でしたが、とてもいい経験ができました。



また、最後の週には体育大会にも参加しました。この体育大会では、日本では絶対にはないおもしろい経験をしました。まず、朝の9時から6時半までであったのですが、その間学生はマッコリを飲み、チヂミを食べ続けています。そして応援の仕方が、各学科ごとにわかれているのですが、学科ごとにカラオケの機械が準備されており、それぞれ大音量で歌って踊っているのです。とまることなく続けていました。見ても面白いですし、一緒になって歌うのはすごく楽しかったです。また、競技にも参加しました。私達は、大縄跳びや綱引きに参加しました。日本にもある競技ですが、少しずつルールが違うので文化の違いを感じ面白い経験ができました。

○国際交流センター

大学の敷地内にある国際交流センターで、大学の授業とは別に行っている授業の見学をしました。ここでは学生の人数も少なく、限られた人のみで授業を行っています。大学の授業とは違って予習、復習の量がとても多く、進むスピードもとても速いです。先生も厳しく学生達はとても大変そうでした。でもみんな意欲満々で、一生懸命勉強していました。先生にお話を伺ったところ、学生との距離が近い分、先生にかかる負担はとても大きいそうです。でもとてもやりがいがあり楽しいそうです。ここに通う学生は、1年で日本語検定1級に合格することを目標としているので本当に必死です。その姿を見て、自分達を反省し、とても刺激になりました。

○宿泊先について

私達は、大学からタクシーで10分ぐらいかかるところにあるホテルで生活をしました。ホテルはきれいで、一人部屋だったので不自由なく過ごすことができました。ただ、ホテルもホテルの周辺にも洗濯機がなかったので洗濯には少し困りました。

○JIPに参加して

実際に日本語を勉強して間もない学生に授業をして、日本語を教える難しさや楽しさがとてもよくわかりました。自分では理解していたことでも、いざ質問されると戸惑ったり、答えることができなかつたり、わかってもどう説明すればいいのかわからなかつたり、自分の勉強不足を痛感しました。この感覚は実際に経験しないとわからないことです。今回JIPで行かせてもらえたからこそ気づくことができました。日本語教師の難しさを感じると同時に、日本語教師の楽しさを感じ、改めてやりがいのある仕事だと思いました。



○謝辞

この度、実習でお世話になった慶南大学の先生方、事務員の方、学生方、姫路獨協大学の先生方、たくさんのご配慮ありがとうございました。みなさんのおかげでとても素晴らしい経験をさせていただきました。この経験を今後の人生に生かし、それぞれの道に向かって頑張りたいと思います。本当に、ありがとうございました。